



学校だより  
8月号

# しもつ

令和6年7月19日  
海南省立下津小学校



## 「夏休みだからこそできる言葉かけ！」

下津小学校長 高垣 和生

いよいよ子どもたちにとって楽しい夏休みが始まります。夏休みは、今までの学習や生活を見直し、二学期に備え、志を新たに準備する絶好のチャンスです。期間は30日ほどですが、いつもより長い本を読む、時間をかけて観察や実験をする、家族の一員として継続的にお手伝いをするなど、長い休みを活かした様々な経験を積んでほしいと思います。また、いつもより子どもと一緒に過ごすことが多くなり、いろいろな場面で言葉かけをする機会が増えると思います。どんな言葉かけをすればいいのか悩むときはないでしょうか？

子どもが家族と一緒にケーキを作りました。普段はやる気がないのに、この時は頑張っておいしいケーキができました。ほとんどお手伝いをしない子だったので、家族は大変喜びました。さて、もし皆さんがこの子の家族だったら、ケーキをがんばって作った子にどんな言葉かけをしますか？多くの人は、次のように考えたのではないのでしょうか。「おいしいのができてよかったね。」「がんばって作ったね。えらいね。」「また、おいしいのを作ってね。」まだ、他にもあるかもしれませんが、ほめることが大切だということで、このように考えた人は多いと思います。実際、私も最初は、そのように考えていました。ところが…「一緒に作れて楽しかったね！」という声のかけ方もあるのだそうです。これは、作ったことの喜びを子どもと共有している「横の関係」です。これに対して、「がんばって作ったね。」というのは、評価をする人と評価される人という「縦の関係」になります。では、どちらの方が子どもにとって嬉しいのでしょうか。例えば、自分がたまにしか作らない料理をしたとき、家族に「おっ、えらいね。がんばったね。やればできるやん。」と言われたら、どんな感じがしますか。私たち大人は、子どもとの関係で、知らず知らずのうちに「よくできました」という観点、つまり「縦の関係」だけから子どもをほめてしまっているかもしれません。もちろん、ほめることは大切なのですが、大切なのはその「ほめ方」です。いつでも「すごいね」「えらいね」だけではダメで、「協力してくれてありがとう」「一緒にやれて楽しかったね」などという観点、つまり「横の関係」の中で、子どもと喜びを分かち合う態度や感謝の気持ちをもつことも必要なのではないのでしょうか。まだまだ十分とはいえませんが、私自身もこの話を聞いてから、「子どもたちに対する言葉かけ」を考えるようになりました。保護者の皆様と一緒に本校の教職員も、感謝の気持ち、喜びの気持ちを伝える「横の関係」での言葉かけを、学校でも多くしていきたいと思っています。長い夏休み、御家庭でもぜひ実践していただければ幸いです。

### 保護者の皆様にお願いです！

この時期は、子どもに関わる海や山の事故や交通事故、熱中症によって重篤な状態に陥ってしまうなどの出来事が、残念ながら日本各地で起きています。子どもたちは、気持ちが開放的で緩みがちになります。思わぬ事故にあったり怪我をしたりしないよう、お子さまへの注意喚起のお声かけをお願いいたします。さらに、夏休みの終盤は、2学期に向けて生活リズムを整えていくように、ご家族皆様のご協力も併せてお願いいたします。2学期は、8月21日（水）から始まります。子どもたちが元気に明るい笑顔で登校してくることを楽しみにしています。思い出の一ページとして残るような、素敵な夏休みとなりますように…。

## 8月 行事予定

日	曜	行 事
21	水	始業式 下校 13:00
22	木	短縮日課 下校 13:00
23	金	5年生キッズ救命講習（2限） 短縮日課 下校 13:00
26	月	短縮日課 下校 13:00
27	火	短縮日課 下校 13:00
28	水	短縮日課 下校 13:00
29	木	3年生キッズ救命講習（3限） 短縮日課 下校 13:00
30	金	2・5年生キッズサポート（3限） 短縮日課 下校 13:00



※9月8日（日）環境整備作業・資源回収（育成会）

夏休み中も、気になることや相談事等ありましたら、小学校までご連絡下さい。学校教職員はもちろん、海南省の相談員も対応可能です。（TEL492-0116）